

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成23年11月(2011年)No.551

「昭和戦後・蔵出し映画劇場」東京で開催 8ミリフィルム時代の名作の数々に酔う

東京で昭和時代の懐かしい映像を上映する催しが、昨年9月11日が第1回で、第2回目が今年10月16日に行われ好評でした。次回は来年6月頃に予定されています。第1回目のときは、有村博さんのキャノングランプリと広島国際内閣総理大臣賞受賞作品「煙の挽歌」と私(合原)の昭和45年全日本アマチュア映画コンテスト入賞作品「ツリーの最後」がプログラムに加えて頂きました。その他、輝かしい受賞作品の数々が披露され、あらためて8ミリフィルム時代には、じっくりと腰を据えて作った大作が多かったと感動いたしました。第2回目の上映会も戦後の庶民のくらしぶりを描いた懐かしい情景やドラマなどもあり、ビデオ時代になってからの発表会とはひと味違った感動を覚えました。

第3回は水津正夫、浜田馨、松原博臣さんなど今は亡き方々の名作も予定されていますが、当時のフィルムがそのまま残っているか、或いはDV等へのテレシネされて残存しているのかが懸念材料です。

大阪でも、やろうじゃないかの声も

柴辻英一さんや前田茂夫さん、江村一郎さん等、例会帰りの喫茶店で。大阪でも8ミリフィルム時代の作品上映会をやろうじゃないか、という話が出ました。大阪アマチュア映像連盟の会員さんを対象に難波学習センターの研修室で例会日の午後1時からやれば経費もたいしてかからないし、そう観客動員もなくても構わないからと、すっかり乗り気の話題でした。

会場は3ヶ月前に予約する必要がありますので、3月にやろうとすると12月1日の申込日までに決めなければなりません。10作品ぐらいいは集めたいと思いますので、フィルム作品(テレシネしたもの)をお持ちの方はご参考までに、会長までご連絡ください。

11月例会のお知らせ

11月例会は26日(第4土曜)の午後6時より、いつものJR難波駅上4階難波市民学習センターにて開催します。年度賞は11月例会作品までの中から選定されます。月1回の例会にぜひお越し下さい。お待ちしております。

■船橋喜敏さんより退会届来る

昨年 10 月に入会され、今年になって 9 本の作品を出品され毎回出席もされていた船橋さんから、突然退会届がありびっくりしております。ご病気だとは伺っていませんでしたが…。撮影、編集もだんだん上達されてきておられたので残念です。

私儀、今般都合により OMC 会員を退会させていただきます。在会中は色々とお世話になりました。どうぞ、皆様によろしくお伝え下さい。今後共どうぞよろしく。11月22日 船橋喜敏。

■会費納入者で例会へ来られない方へ

OMC 映像フェスティバル DVD 進呈

会費を頂いている会員さんで、ご病気や遠隔地の故に一度も例会等へご出席が叶わなかった方へ、せめてフェスティバル作品だけでも見て頂いたらどうか、進藤世話役から提案があり、早速実行に移すべく、関世話役に DVD にして送って頂きました。

贈呈者：石垣禎章氏、藤原純三氏、安居利次氏、山口幸代さん、那須典彦氏の 5 氏。

■予告

- ① 1 月例会は連年通り第 2 日曜 15 日
13 時から開催、総会の後、夜新年会
- ② 12 月例会日の 13 時より幹事会（年度賞選考会）、15 時より世話役会（来年度の役割分担、撮影会候補地等）
- ③ 来年度会費 8,000 円、12 月例会にて会計へお納めください。

10 月例会レポート

気候もすっかり涼しくなった 10 月例会日何故か会員さんの集まりが 20 名と少なかったが、行楽季節で旅行でもされている方が多いのか。今月の司会、進藤氏、書記、宮井氏、映写、井上、河合、江村の 3 氏、受付、宮崎、華岡の両氏の担当で進行。

■出席者：有村、井上、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、錦、西村、華岡、船橋、前田、宮井、宮崎、森下、吉岡の 20 氏と作品数 12 本でした。

■上映作品（今月の講評は宮井世話役です）

1、雨の一日 HDV

宮崎紀代子さん 6分

白浜撮影会の 3 位入賞作なので、先月の前田さんに次いで映写になりました。作者は、撮影会 2 日目は荒天のため、全く撮影しなくて、ホテルを出て帰宅しました。1 日目も撮影したショットは少ないと聞いていました。少ない素材でも上手に構成を考えて、うまく纏められました。賢い主婦のやりくり料理の感じ。台風接近の天気図 5 月 28 日 15 時現在（撮影会 1 日目）が編集に使われたのにはビックリ。ネットで入手したそうです。発想が素晴らしいです。ナレーションのイントネーションに味があり、女性作家らしい優しい映像で紡いだ素敵な作品です。

2、東京ぶらり旅・浅草編 HDV

吉岡貞夫さん 9分15秒

映像作家連盟の総会で東京を訪れた作者が、ビデオカメラを片手に靖国神宮と浅草を訪れました。関さんと有村さんも一緒のようです。作者は多分気軽にスケッチ風に撮影していたのでしょう。浅草では雷門、宝蔵門、本堂の、それぞれの説明のナレーションがありますが、カット不足で速度を遅くして、そして静止画を多く使った苦心の映像作りです。無理をして、このような作品にしないで、軽い調子の構成で「東京ぶらり旅」を 1 本に纏めて編集した方が良かったと思います。

3、爛漫・アマビデオの経歴 BD

有村 博さん 7分14秒

爛漫を辞書で調べたら「花が咲き乱れるさま」とありました。この作品も花のオンパレードです。VHS から始まり AVCHD までの時代の映像が次々と出てきます。VHS は昭和 56 年の映像、Hi8、S-VHS は平成 7 年の映像、DV リニアは平成 8 年、そして DV（ノンリニア）HDV は平成 18 年、AVCHD は平成 23 年の映像です。当時の VHS の画質は 8 ミリフィルムより落ちていました。Hi8、S-VHS でフィルムの画質に近くなったように思います。次の DV はデジタルですから、

画質も及第点になりましたが、後のHDVはアマチュアビデオの革命的画質の誕生になりました。筆者は、その頃クラブには入会してなくて、映像きしわだの映写会で上田さんのハイビジョン作品を見て、美しさに驚きました。映像を趣味とする者はこのテーマは興味があるだけに、花の映像だけでは惜しいと思います。風景なども入れると、画質の比較がより出来る筈です。楽しく見せていただきました。

4、炎に挑む HDV

前田茂夫さん 7分50秒

作者は丹波焼の窯元をネットで検索して、訪れたそうです。探して訪ねて行った際に、撮影の許可をもらい、再度訪れて撮影されました。丹波縦杭焼登り窯は斜面を利用した長い窯で両側に穴が幾つも空いています。朝鮮から伝来しました。窯で燃える火は上に向かって勢いを増し、煙突から真っ黒な煙がもくもくと出ていました。窯元の大西文博さん、息子の大西雅文さんが薪をくべています。顔のアップもあります。ベテランの作者は撮影が可能な映像は、そつなく捉え完璧です。しかし説明がないので、映像詩作品でもなく、縦杭登り窯の紹介作品にしては、印象が薄く中途半端です。L字金棒で火中の焼き物を取り出すカットがありますが、そのショットを撮影出来た時、作品になると思ったとお聞きしました。しかし、この絵作りだとナレーションは絶対必要です。資料で調べ、ナレーションを入れて再度見せてほしいです。

5、鯖街道を歩く・熊川宿 HDV

紙本 勝さん 10分40秒

作者は各地の祭り、歴史街道、城跡などを主に作品作りをされていますが、今まで沢山見せて頂きましたが、全て完成度の高いものです。撮りたいものがあれば、遠くても出かける情熱、資料を綿密に調べ上げています。この熱意が若さの源になっていると思います。小浜から16キロ行った所に熊川宿があります。作者のシリーズ3作目です。鯖街道は銭の道。小浜から女性たちが鯖をこの宿に運び、後は京都まで男たちが運んだそうです。国の建造物群保存

地区の建物は多様で必見の価値があります。古い看板のある店の主人にインタビューや、熊川宿資料館では展示している写真を前に館長とのやり取りなど、交流と情報収集を忘れません。熊川宿は電柱が無いのですね。地中に埋めるのではなく建物の下に電線がありました。町を流れる用水路・前川は400年の歴史があり住民にとっては大切です。明治3年に廃止になった番所(関所)があります。「今日は休館日なので取り調べもなく無事通過出来、次の宿場に向かいます。」のナレーションのユーモアが洒落ています。

6、遊園地の詩3 HDV

宮井 健 5分

シリーズ3作目になります。またかと思われましたか？1作・2作ともよく似た作品だったので、今回は遊園地で働く人を撮影しました。BGMは「美しき青きドナウ」です。8ミリフィルムの全日本入賞作品に浜田馨さんの同名の作品でこの曲が使用されていたので真似をしましたが、曲に映像があってなくて失敗作かも。

7、蹴鞠奉納 HDV

進藤信男さん 13分55秒

タイトルは蹴鞠奉納ですが、蹴鞠会になるまでに詳しく談山神社のいわれなどを紹介しています。中臣鎌足(藤原鎌足)と中大兄皇子が曾我氏を倒す計画を練った(談合)ことが神社の名前の由来になった説。二人が現在の飛鳥寺での蹴鞠会で知り合ったことにちなみ蹴鞠会が行われる由来など。世界でただ一つの十三重塔は美しいですね。1,523年の再建で重文に指定されています。蹴鞠のシーンは絶好のポジションで撮影されています。貴族の遊びで生まれた球戯はサッカーにも通じます。作者らしい力作でしたが、もう少し短く編集されたらと感じました。

8、大阪城・桜の花が咲く頃 DVD

船橋喜敏さん 12分20秒

3月27日の桃の撮影に始まり桜が散るまで何度も足を運ばれた努力作です。城がご自分の庭みたいな作者が見せてくれる映像は他の人が撮れないカットがあるのでし

ようね。この作品も天守から360度の展望や、色々な桜がありました。ところで天守閣は今年で80年を迎えるのですね。あの激しい空襲で奇跡的に戦災を免れました。上映後、関さんが桜だけで12分は長すぎるといわれましたが同感です。8分ほどにすれば見違えるほど良くなります。テロップの行書は読みづらいです。ゴシック体をおすすめします。

9、よさこい2010 HDV

江村一郎さん 7分

ある人が作者の特長は切り口にある。と言っていました。切り口とは作品の中にあるクローズアップやアップのことでしょうか。そんな単純なものではなく、カメラワークと編集も含めて総合的なものから感じるものでしょうか。作品にあるカットはドキッとするものばかりではなく、平凡なカットも勿論あります。そういうカットも必要です。この作品も路面電車の中のカットから始まり、なにげないカットが続き突然、子供のクローズアップが有ります。アップも沢山あり、ロング、ミディアムの切り替えの妙、魅力的なカットも多くあって、そして様々の「よさこい」の映像を見せてくれました。有名グループの「ほにや」の洗練された群舞もすばらしい。BGMの使い方もいいですね。カメラで収録したものをうまく処理して効果的です。筆者は繰り返し見させていただきましました。

10、京都東山花灯路・狐の嫁入り HDV

高瀬辰雄さん 6分15秒

花灯路のある夜景から始まり、舞妓が踊るカット、また花灯路になり、次の画面は暗い路地を子供が走って来ます。演出なのでしょう。狐の行列の映像になり、人力車に乗った白無垢の花嫁が狐のお面を付けています。行列の人たちは提灯を持っています。BGMは電子楽器の演奏したものです。不気味で妖しげな雰囲気曲です。現実を離れ幻想の世界です。と思った時、激しくテンポの速い曲に変わり若い女性たちのダンスになります。しばらく続きますが、また静寂が来ます。今のは幻かといった雰囲気です。五重塔が路地の向こうに見え、

空になった人力車が現れ去って行き、終になります。映写後、合原会長は終が、もの足りなかったと言われました。昔から晴れているのに雨が降ってくるのを狐の嫁入りと言います。そして黒澤明監督の「夢」の作品でも狐の嫁入りがありました。その作品のことを、ふと思い出しました。

11、シエマホルン風車博物館 BDorSD 井上勝彦さん 6分53秒

オランダは海拔が低いため、農地の開拓に風車が使用されていましたが、今は、必要でなく、主に観光用として風車があるようです。作品の風車博物館は小さな風車だけど、昔の風情があって訪れた風車の中でも印象に残ったようです。開館前だったので帆を張るところも撮影しています。資料館の内部の映像があります。管理人が宿泊するベッドは驚くほど小さいとか。稼動中のアルキメデス・ポンプを見て、感動するコメントのテロップ。オランダ風車は反時計回り、オランダにある発電用風車は時計回り、管理人に聞いても、分らないという答え、たぶん帆が張りやすいからだろうと言う。釈然としないまま帰路に着いた。のナレーションは面白いです。

12、ある記憶 SDカード

関 剛さん 9分30秒

万博公園で撮影された映像に万博開催時の映像が重なり進行していく構成になっています。公園に入場する人たちの足のカットから太陽の塔の顔のアップになり、次々とアップで捉えた映像が展開し、博覧会の動画と静止画がピクチャー・イン・ピクチャーで出ます。♪～こんにちには今日は～と三波春夫の万博の歌が流れてきます。万博の懐かしい思い出がよみがえります。催眠術にかかったように、当時にタイムスリップしてしまいました。大阪に住む人は、それぞれ思い出に残る万博。あれから過ぎ去った日を想い、涙が出そうになりました。

以上で映写を終え、それぞれ喫茶組と居酒屋組とに別れて二次会を楽しみました。